

平成17年度協働事業提案 公開調整記録

No. 3 出張教室からひろがる温暖化を考える会

とき 平成17年6月22日(水) 15:00~16:00

ところ 大和市役所会議室棟202会議室

参加者

- ・提案者：五十嵐さん
- ・関係課：環境総務課（目代、加藤）
- ・協働推進会議委員：平塚委員、大野委員、木之下委員
- ・事務局：市民活動課（小山、小林）

【提案者の想い・調整の主な内容】

提案者

- ・温暖化について伝えたい。
- ・太陽光、新エネルギーを話だけでなく、体感してもらいたい。
- ・公開プレゼンでは、学校に特化していた。
- ・大和市のイベントに啓発目的で参画したい。環境関係のイベントにも参加したい。
- ・対象は、子どもも大人も対象にしている。
- ・温暖化、新エネルギーを伝え、将来のエネルギー事情を知ってもらいたい。
- ・継続性が大切である。
- ・継続するため、活動を広げるため仲間を作りたい。
- ・大和市と一緒に進めて行くことで、継続していくこと、仲間をつくること、提案事業の内容を進めるのにスピードアップが図れる。
- ・協力する団体もある。
- ・大和市で環境イベント【環境立市フェア】をやっているのは知っているが、そこで行った啓発活動に継続性があったのか疑問。
- ・学校だけを主体としているわけではない。自治会もターゲット。
- ・市が考える協働事業とは？具体的にイメージできない。

環境総務課

- ・大和市も温暖化については重要なことであると考えている。

- ・ 提案内容の「温暖化問題の重要性を市民に知ってもらおう」という主旨は理解できる。
- ・ 公開プレゼンの時は、子ども・学校に特化していたように感じた。
- ・ 何を協働事業としてやっていきたいのか？環境総務課として、何を協働できるのか？具体的に見えなかった。
- ・ 環境部では、【環境立市フェア】で温暖化防止に向けた太陽光エネルギーについて展示する、などの啓発をしている。
- ・ 環境総務課で考えられる「協働」のイメージとして、環境総務課と提案者【五十嵐さん】とで環境に関する教室【啓発勉強会】を一緒に開催するものを考えていた。

協働推進会議委員

- ・ では、具体的にどんなことが考えられるか？

事務局（市民活動課）

- ・ 事業の目的を提案者と市が共有でき、その目的のために、役割を分担し、協力して行

っていくのが協働事業

【確認事項】

- ・ 協働への第一歩として、環境立市フェアへの参加。
- ・ 協働できるところから考えて、環境総務課と提案者と一緒に環境に関する教室、啓

発教室の開催する方向で進めて行く。

- ・ 教室実施に向けた提案内容に練り直し、次回、7月6日10時から会議室棟203で2回目の公開調整を行う。

【記録者：市民活動課 小林】